

質問者 <sup>たかだ</sup>高田 <sup>えいと</sup>瑛斗 議員（12番）

1 少子高齢化が進む沼田市における効率的な税金の使い方

ただいまの<sup>たかだ</sup>高田 <sup>えいと</sup>瑛斗議員のご質問にお答え申し上げます。

少子高齢化が進む沼田市における効率的な税金の使い方、について  
ありますが、高田議員ご指摘のとおり、全国的な課題である人口減  
少、少子高齢化は予想を上回る速さで進行しています。国勢調査にお  
ける本市の人口は、平成22年が51,265人、令和2年が  
45,337人と、10年間で約6,000人減少しています。高齢  
化率については、平成22年が26.23パーセント、令和2年が  
34.11パーセントと、7.88ポイント上昇しています。

また、市税の決算額については、平成23年度が65億1,791  
万円、令和3年度が62億5,134万円と2億6,657万円減少  
しています。

そうした中、今年度の当初予算においては、課題解決と未来への投

資 ～持続可能なまちづくり～ をキーワードに、課題解決を実践し、子育て支援や企業誘致などの未来への投資により、市民生活の安定と向上を図る予算としましたが、大切な税金を効率的に使うためには、優先的に実施すべき事業や施策を見極めることが重要で、そうした予算編成、予算執行に努めているところです。

とりわけ、将来的な税収の増加や働き場所の確保を目指した企業誘致には力を入れています。また、市民生活には欠かせない飲み水を供給する浄水場の老朽化が著しいことから、多額の経費を必要としますが、この施設の更新も決定したところです。このほか、脱炭素社会の実現など環境政策や、DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組などにも力を入れているところです。

基本的な行政サービスの提供はもちろんですが、将来を見据えた施策を展開することで、若い世代が「将来も住み続けたい」と思えるような沼田になるよう、引き続き、大切な税金の効率的かつ効果的な活用にも努めてまいりたいと考えています。

以上申し上げます。高田<sup>たかだ</sup> 瑛斗<sup>えいと</sup>議員のご質問に対する答弁とさせ

ていただきます。